

会 議 録

会議の名称	第5回 中野市総合戦略会議
日 時	平成27年9月29日(火) 18:30~20:10
会 場	市民会館42号会議室
出席者等	<出席者> 委員：前澤憲雄(会長)、上野見(副会長)、小野建一、宮川浩、関貴彦、 三枝康雄、山口和彦、相子靖子、内山奈月、吉原明彦 市：大堀総務部長、小橋政策情報課長、柴本、青木 <欠席者> 委員：高橋一隆、山浦直人、渡辺信也、山下健一、本間直幸、山口美緒
次第	1 開会 (進行：総務部長) 2 あいさつ (会長：前澤憲雄) 3 報告事項(小橋政策情報課長) ・第4回総合戦略会議のまとめ《資料1》 4 意見交換 【テーマ：前回会議での事業アイデアについて】 ・朝市(ファーマーズマーケットなど)について ・市民が集える場(サロン、コワーキングスペース)について《参考資料》 5 その他 次回開催予定：未定 6 閉会
発言内容	別紙のとおり

【別紙】

第5回 中野市総合戦略会議

平成27年9月29日(火)

18:30~20:10

市民会館42号会議室

1. 開会(18:30)

総務部長	定刻になりましたので「第5回総合戦略会議」を開会します。 ただ今の出席委員数は9名であり、過半数に達していますので会議は成立しております。はじめに、前澤会長からご挨拶をお願いします。
------	--

2. あいさつ(前澤会長)

会長	本日は、第4回の会議の議論を踏まえて、一步踏み込んだ議論をしていただければと思います。いずれにしても、4つの基本的な柱が明確になっておりますので、この戦略会議としては、地域の固有の戦略を具体的に描いていくかを議論していきたいと考えています。
総務部長	ありがとうございました。 それでは、以降の進行を前澤会長にお願いしたいと思います。

3. 報告事項

- ・資料に基づき、政策情報課長より一括説明

会長	事務局の説明について、ご質問等お願いいたします。
	(特になし)

4. 意見交換

【テーマ：前回会議での事業アイデアについて】

- ・朝市(ファーマーズマーケットなど)について
- ・市民が集える場(サロン、コワーキングスペース)について

会長	最初に、朝市について始めたいと思います。
委員	朝市をやってみたいと思ったきっかけは、自身がやっている店はアメリカ・ポートランドにあるような店というのをイメージしてやっている。この町は農家や木工系の方が多い産業の町である。最初は、いろいろな方に来てもらえる町にするため、空いているスペースを活用し何かを創り出していくきっかけとしてファーマーズマーケットを始めた。数人から始めた取組が、とても活気のある大きな空間となっている。それを中野でと考えると、可能性はあると感じている。生産者もいるし、美味しいものも多いし、近隣に多くの観光客も来て

	<p>いる。ただ、中野を素通りしてしまっている現状がもったいないと思い、きっかけとして、朝ご飯を食べに行こうでも、買い物に行こうでも、中野に住んでいる人たちが作っているものを食べてもらう。それを見せていくきっかけとして朝市ができればと考えている。</p> <p>では、それをどうやっていくかは、朝市をやることは皆さんのご協力があればできると思うが、やはりテーマを決めてやっていくことが重要である。1つは若い生産者に来てもらう、趣味趣向が合っている人たちに集まってもらう。例とすれば、アウトドアに繋がる人やクリエイティブなものを考えている人たちなど、単に生産者だけで店を出すだけでなく、人に伝わるようなものも必要である。後はかっこよくなくてはいけない。すごいことをしてるなど、地方からでも発信できることは大切だと思う。若い方が出ていけるチャンスが広がり、いろいろな提案が出てくるきっかけとなる。</p> <p>ただ、イベント的なものだけでなく、そこがビジネスでなければいけない。参加する人が儲からなければ意味がない。農家でいえば、農協に卸している人や顧客に直接販売している方がいると思うが、朝市という場で別の繋がりなどが生まれるのではないか。プラスになることもマイナスになることもあると思うが、ブラッシュアップしながら次のステップに持っていきやすい企画になるのでないかと思う。後はチームを作って、集まったメンバーでどうするかを決めていく形になるかと思うが、中野市の武器をクローズアップしていきながらやるのが面白い。</p>
会長	関連でご意見等ありますか。
委員	朝市に関連して、昨年、輪島の朝市に行ってみて、外部の観光客向けと感じた。中野でやるにしても、内部の人より外部の人をターゲットにしないと、値段的にも高く売れない。昨年、商工会議所青年部のイベントで、ブドウ 500 円で売ると、地元の方は躊躇するが、県外の方は 500 円でも 1,000 円でも売れる。朝市は市民をターゲットとするより観光客向けにした方が成功すると思う。
委員	ファーストステップは市民や近郊にいる人をターゲットとし、朝市をやっていることを理解してもらう。平行して進めてはいくが、それから観光客にも広げていく。まずは、北信の方からと感じる。
委員	<p>オランチェは、かなり好評である。行ったことはないが、行かない理由としては駐車場が非常に混んでいる。市外の人から聞いても「いいね」と聞き、実際、近隣から多くの人 coming。非常に魅力的な場所となっており、集客力もある。中野の商品をアピールしながら、隣ではカフェがあったり、中野を紹介したり、そこだけでなくいろいろなものをオープンにして中野全体をアピールしていければいいと思う。</p> <p>先日の連休に小布施のハイウェイオアシスに行った。あそこも農産物の直売所があり、土産品も売っているが、非常に盛況であった。商品力もあると思うが、地元の方プラス観光客が多く来ていると思う。オランチェは高速を降りなくては行けないが、小布施は高速に乗ったまま行ける。たまたまサービスエリアで休んだらお店があるから行ったのか、それが目的で行ったのか、両施設と</p>

	<p>も集客力がある施設であり、その辺を分析する必要はあるのではないか。</p> <p>ただ、観光客は読みづらいし継続性に欠けると感じている。自分は旅行をしてもあまり農産物等を買わないこともあり、観光客の買い物意識は研究する必要はある。</p>
委員	<p>オランチェの横にある観光センターの活用の仕方はあるのではないか。</p> <p>日曜日の午前中にオランチェに行ったことがあるが、人で溢れており、あそこでイベント等できたら、より魅力的な場所となると思う。</p>
委員	<p>今、議論している朝市はオランチェのライバルとなるのか。</p>
委員	<p>ライバルではない。オランチェと違った形で魅力を創り出していく。同じものをやる必要はない。</p>
委員	<p>中野でかっこいいものができたらなというイメージなのかなと思う。朝市では売るだけでなく、工夫された朝ご飯を食べて、それから山へ行こうと思わせるような中野スタイル的な提案ができれば面白いと思う。</p>
委員	<p>オランチェが成功している要因は、場所なのか、売っている商品なのか。</p>
委員	<p>高速道路に乗る前にオランチェに寄るのが、観光コースとなっている。</p>
会長	<p>観光客にしたら、山ノ内で観光して、帰るときオランチェに寄る。場所によるメリットはある。ただ、オランチェは商品力である。農産物は1つ100円強。1,000円もあればすごいボリュームになり、都会の人からすれば魅力的なものになる。鮮度にしても、当日に収穫したものだけを売る。また、ターゲットは中高年層を意識している。</p>
委員	<p>ターゲットは明確にした方がよい。アウトドアにしてもお洒落でカジュアルに楽しむ人をターゲットにするなど、棲み分けは必要だと思う。</p>
会長	<p>皆さんがイメージしている朝市は、若者をターゲットとしており、今の中野にはそのようなものはない。また、オランチェには部会があるが、生産者だけであり、異業種の人参加していない。</p>
委員	<p>議論している朝市は総合的な感じになるが、そうすると平たくなってしまい焦点がぼけてしまうので、キーとなるのは中野の食べ物、ファーマーズマーケットとなると農産物は必要なものになる。</p>
会長	<p>売るだけでなく、そこで食べるのであれば魅力である。</p>
委員	<p>季節により出すものは変わるが、夏であればスムージーやサンドウィッチだったり、中野のものを使って出していく。参加する人が知恵を出し合って様々な仕掛けをしていくことが必要。</p>
委員	<p>時間が問題となる。若者は朝早くからは動かない。</p>
委員	<p>ネガティブな考えは捨てる。最初は人は来ないと思うが、そこに行ってみたいと思わせる魅力づくりではないか。</p>
会長	<p>行ってみたいと思わせる企画が大事であり、同世代が誘い合える魅力をどうするか。それには、女性の意見は非常に大切である。</p>
委員	<p>朝の時間に特化することがポイントだと思う。朝にジョギングなど運動した後スムージーを飲むだとか、健康的な商品を提供する朝市は面白いと思う。</p>

委員	若い人、女性、子どもたちに広がればいい。そこで、人とのコミュニケーションが生まれる。
政策情報課長	朝に特化して健康的なメニューを提供するという提案はいい。
委員	オランチェはインターチェンジの前にあるが、市街地の方が面白いとを感じるが、場所の候補はどうなるか。
委員	陣屋前広場や一本木公園あたりが候補ではないか。
委員	外からも人を呼びたいとなると、常設の施設がベターだが、それができないとしても、イベント日を定めて外から来てもらうのが必要ではないか。
政策推進係長	朝市を実現するために、行政にどんな支援があったらよいか意見を頂戴したい。場の提供となると陣屋前や一本木公園は、市の敷地なので許可するなどがあると思う。総合戦略の中に朝市やファーマーズマーケットを計画に取り込んでいくにあたり、行政ではこういうことをやっていくと打ち出したい。
	逆に行政は何をしてくれるのか。
委員	場の提供もあるだろうし、市の力で外にアピールしていくこともある。当然、市民への働きかけも考えられる。個人では、宣伝では難しい部分もある。
委員	先日、会津若松に行った時、和風の屋台（リヤカー）が、ほぼ同じデザインで、多くの屋台が出ていて市をやっていた。イベント時には出てきて、それ以外では引き上げることができる。常設ではなく、トラック市みたいな感じではあるが、統一感があって魅力的であった。中野でも、そのようなものをベースに、行政でも助成をしていただき、同規模・同デザインの企画は面白いのではないか。
会長	具体的な意見がありました。それをやりたいと人が集まる環境づくりを行政として支援していただく。行政が目出ししてくれれば、やりたい人が集まってくる。
委員	やりたいとかやるという人、雇用がないからではなく、挑戦をしたいという人が集まる街になるきっかけとなればと思う。
吉原アドバイザー	総合戦略をまとめていく中で、計画期間が5年間という中で、どんな施策ができるかを目出ししていく。戦略会議は事業を提案していく場であり、どんな風に事業を進めていくかは、例えば、朝市は行政が中心というより、チームや実行委員会などで進めていく。その中で、ターゲットや場所などを決めていき、行政は必要な支援をしていく。
副会長	飯山市のアクティビティセンターを取材した。地元の方は何もないというが、センターの方は、半径20km以内に年間通してこれだけのアウトドアが楽しめる環境が整った場所は世界でも珍しいという。そういう感覚でいえば、中野もポテンシャルは高い。
会長	朝市については、総合戦略にも盛り込んでいただき、それに基づいて、実現に向けた動きになればと思います。続いて、市民の集まる場について議論したいと思います。ベンチャー的なものの創出をイメージする。
委員	資金的なベンチャー支援は用意してある。コワーキングスペースは中野にはないのか。

政策情報課長	現時点では把握していない。
委員	起業を目的としている人はいるのか。
委員	自分の周りには沢山いる。中野に住んでいるが、現状では長野での起業とならざるを得ない。他の自治体でもワーキングスペースとして、鉄工所の跡地にオフィスや店舗やシェアスペースを作っている所などある。
委員	ベンチャーというより、市民活動的なものをイメージしていた。ベンチャー支援となると商工会議所などでの支援ができるのではないかと。中野市になれば、こういうスペースを活用し新しいものを考えていく。人を集めるのは難しいと思うが、共通のテーマ性を設定できればいい。ただ、運営はどうするのかは課題がある。
会長	先進事例ではどのような運営をしているのか。
政策推進係長	上田市の「ハナラボ」はNPOが運営している。運営スタッフには民間の方や市役所職員も入っている。
委員	総合施設になればよいと思う。旧中野高校跡地もそうだが、誰もが使える場があればいい。話は変わるが、個人的には子ども達が集まる場を作りたいと考えている。小布施にあるジャンプ台施設には、そこを使いたいのために移住してきている家族がいる。中野にスケートボードのパークを作りたい。子ども達ができるスポーツの場所を提供できる地域となれば、子ども達を連れて家族が移住してくるのではないかと。全国にはそのような施設からオリンピック選手などが育ったという事例もある。また、学校にいけない子たちがスポーツを通じて救われたという話もある。使っていない施設を音楽施設として使用していくにしても、方向性がバラバラなので、そういうものを一つのものに凝縮していくスペース、サロンにせよ、繋がっていくものなのかなとイメージしている。
会長	あらゆる分野の問題意識のある市民や何かやりたいという市民が、一同に会して、共通のテーマで自然発生的に話ができたり、そこから新しいものが動いていくことが理想かなと思う。そういう場が今は無い。
委員	上田や長野の事例は限定的なものとなってしまうイメージがある。スポーツもできて、市民活動ができる場となると少し形が異なる気がする。ベンチャー含めビジネス的なスペースはあってもいいと思うが、別物として考えていった方がよい。
委員	使っていないスペースを活用していく。一から建てるとなると予算もかかるし、使っていないものをリノベーションし、頭を使って変えていくことが現実的ではないか。
総務部長	市の施設においても、使っていない施設というのは少ない。屋内ゲートボール場のように借地に市の施設が建っている場所もあるが、厳しい財政事情もあり、現在の賃貸借契約が終了次第、取り壊し地権者へ土地をお返りする計画を立てている。
委員	中野に必要なのは、宿泊施設だと思う。ゲストハウスは必要。B&B (Bed & Breakfast) だけで十分で、中野から色々な地域に行けるので使いやすい場所だ

	と思う。中野にもゲストハウスができたし、小布施、須坂、山ノ内にもできてきている。
会長	朝市でもコワーキングスペースにおいても、地域活性化の観点から共通している。新たなクリエイティブなものを作っていく、若者が中心となって盛り上げていくことがポイントとなる。
委員	<p>サロンという部分で、異業種の方の交流という場の意味合いもあるが、外から来た人がお洒落と関連するが、ちょっと違うと思わせる。今日の会議にしても、こういう空間での会議と非常にスタイリッシュな場で会議しているのと、同じ写真を撮って発信するにも全然違う。中野の歴史ある空き家で会議などができる場を作れば、絵的に全然感触が異なる。</p> <p>長野市の善光寺周辺で古民家をリノベーションしている若者の方たちがいて、いい物件が少なくなってきたことで、須坂などまで活動を広げている。中野の中にはまだいい物件があると思うので、リノベーションして有効活用できれば、近代的な利活用も大切であり、そういうものを大切にしている中野市という発信もできる。そこを積極的に動いていかないと期を逸してしまう。</p>

5. その他

会長	その他について、事務局よりお願いします。
政策情報課長	次回の会議について、度々の日程変更で申し訳ないですが、10月13日は延期させていただき、10月末に開催したいと思います。現在、本戦略会議での意見や各種アンケート等に基づき、総合戦略の作成作業を進めております。作業が遅れている関係上、次回会議を延期させていただきたいと思います。決定次第、速やかに通知差し上げたいと思いますので、ご理解のほどお願いいたします。
委員	その際には、総合戦略として内容が詰まっているということか。
政策情報課長	具体的な事業も記載されているものでご提示したいと考えています。

6 閉 会 (20:10)

会長	以上をもちまして「第5回総合戦略会議」を開会します。
吉原アドバイザー	中野市に直接関係ないですが、長野県においても総合戦略を作成しております。9月16日から総合戦略を公表させていただいてご意見を募集しております。県が作っているものが良いものではないですが、こんなイメージになると参考になるのでご覧いただけたらと思います。